西江通信

春号 - Vol.8-

現場だより	1-2
ECO ACTION！	3
社員親睦イベント	4
特集「新入社員インタビュー」	5-6
PLUS NEWS！	7

社内で開催したドローン講習会で撮影。（撮影：工事部工事課主任　水上陽出明）

発行日：令和3年7月5日（月）発行　春号〔通巻8号〕／発行元：西江建設株式会社（帯広市西4条北2丁目20番地）／編集者：総務部　総務課

連絡先：（TEL）0155-25-9105／（FAX）0155-23-9176／（MAIL）m-ishizawa@nishie-co.jp

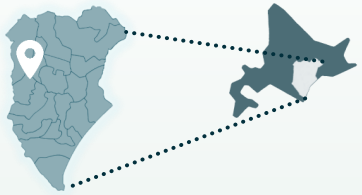
・・・西江通信に関するご意見・ご感想などは左記までお寄せください・・・

現場だより

GENBA DAYORI

西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！
リアルな現場の声をお届けします。

工事名　：道東自動車道　新得清水地区附帯工工事
施工場所：新得町、清水町
施工期間：令和2年9月5日(土)～令和4年3月28日(月)
発注者　：東日本高速道路株式会社
請負者　：西江建設株式会社
請負金額：544,500,000円(税込)
進捗率　：35.1%(5月末時点)



現場職員：妹尾慎一郎（せお しんいちろう）、水上陽出明（みずかみ ひであき）、小野田一志（おのだ かずし）、梅本直成（うめもと なおしげ）
佐藤拓哉（さとう たくや）、西原千晶（にしはら ちあき）、齊藤新三郎（さいとう しんざぶろう）

工　事　概　要

本工事は、道東自動車道の4車線化事業の第１弾工事です。

道東道は、平成7年に十勝清水インターチェンジ(IC) － 池田IC間が開通し、道央及び道東圏を結ぶ暫定2車線(片側1車線)の高速道路としてその後も延伸工事が進められました。当初は十勝地方内だけの道路であったため交通量も多くはありませんでしたが、平成23年に道央道と直結した事で札幌一帯広間の所要時間は約80分短縮され、利用者の便も良くなり交通量も増加しました。一方で、交通事故や降雪障害による通行止めになるケースも多く、交通安全および通行止め解除までの時間短縮に様々な努力が行われております。そんな折、平成28年の台風災害時に国道や鉄道が長期間不通となる中、代替ルート「命の道」として大きな役割を果たした事で、防災・物流の面からも4車線化への機運が高まりました。令和元年に国土交通省は道東道の千歳恵庭ジャンクション一十勝清水IC間の約123kmを含む全国880kmの暫定2車線区間で、10～15年をかけて、優先的に4車線化を進める計画を公表しました。

本工事では、十勝清水IC一トマムIC間のうち清水町・新得町の約10kmの区間において、伐開10ha、函渠工延伸7基、切土・盛土4万㎥や、今後発注されるトンネル坑口部への工事用道路などを整備する、工期570日の大規模な工事です。周辺には、道立畜産試験場（新得工区）や畑（清水工区）等が隣接し、関係者への影響が無いよう打ち合わせをしながら注意して施工を行っております。

大変なのはどんな点ですか

梅本）清水町～新得町（約10km）の間に7か所の工事箇所が点在しており、現在はそれらすべてを並行して作業を進めています。移動も含め、複数箇所の施工管理を同時に行うことの大変さを感じています。職員7名体制で綿密な打ち合わせを行い、誰か一人だけの負担が大きくならないよう、うまく分担しながら仕事を進めています。

道東道４車線化の第１弾となる本工事。どんな想いで日々の施工に取り組んでいますか

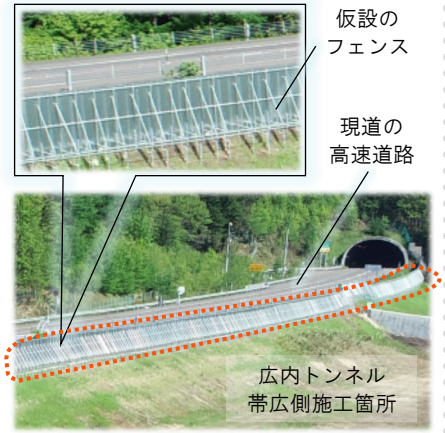
齊藤）道東自動車道は十勝や道東地域の活性化に欠かせない重要な存在です。この工事が完成したら、今よりもっと多くの人々がこの道路を利用するようになるでしょう。このような工事に携わることができたのは、自分にとってすごく貴重な経験になっています。

ときどき、施工中の現場を眺めて完成後の姿を想像します。たくさんの車が行き交う様子、自分が運転しているのを思い浮かべながら、いま目の前にある仕事に精一杯取り組んでいます。

取り組んでいる安全対策について教えてください

水上）すべての現場で言えることですがどんな些細な事故も起こさないことが大前提です。安全施設の配置が適切か、現場従事者が不安全行動をとっていないかなど、常に目を光らせています。

また、この工事は現道の高速道路付近で行っています。施工に伴う小石・枝葉等の高速道路本線内への飛散防止や、侵入防止対策を目的とした仮設のフェンスを設置するなど、一般車両への配慮も欠かせません。



最も達成感を感じる瞬間はいつですか

佐藤）施工が終わり、仮設材を撤去して完成した構造物の全景が見えるようになった時です。施工途中で悩んだこと、苦労したことを思い出しながら、達成感に浸っています。

この現場には様々な経験を持つ職員が揃っており人数も多いですが、現場の様子について教えてください

妹尾）ベテランから若手まで様々な経験値の職員が揃っているので、万全の指導体制が築けています。昨年入社した西原さんの指導は、入社6年目の佐藤主任がメインで行っています。年齢が近いので話しやすいでしょうし、佐藤主任にとっても指導経験を積む良い機会となっています。もちろん、私たちも全力で若手育成に取り組んでいます。

西原）佐藤主任、齊藤さん（派遣社員）から測量を始め日常業務全般を教わっています。そのうえ、例年の新入社員教育を担当している水上主任（入社15年目）、20年以上の工事経験を持つ妹尾課長、小野田主任、梅本主任と信頼出来る上司がたくさんいるのですごく心強いです。また他の事務所に比べて人数が多いのでいつも賑やかです。妹尾課長や小野田主任が話題を振ってくれて、話が盛り上がることもよくあります。和気あいあいとした事務所で楽しく働いています！

現場で取り入れている新しい試みはありますか

小野田）仮設の土留矢板※１の施工にあたり、「硬質地盤クリア工法」を採用しました。従来の工法では、打撃などによって矢板を地中に打ち込むため、騒音・振動といった問題が伴いました。一方、打撃ではなく、一定の圧力を加えながら地中に押し込んでいく事で騒音・振動を発生させない「圧入」という工法もありますが、打撃の力を使わないため、今回の現場のように礫（レキ）※２を多く含んでいる地盤や締まりのある硬い地盤（＝硬質地盤）では打ち込む事ができません。

今回採用した「硬質地盤クリア工法」は、この「圧入」による矢板の打ち込みに、補助工法として「オーガ掘削」（＝スクリュー状の機械「オーガ」を回転させ地中にねじ込むように行う掘削）を組み合わせた工法です。まず1度目の「先行掘削」で硬質地盤を崩し、2度目の「同時掘削圧入」でその中の礫を粉砕しながら同時に矢板を圧入します。これにより、騒音・振動を発生させずかつ確実に施工することができました。

↑ 硬質地盤クリア工法

※１ 土留矢板…土が崩れるのを防ぐために地中に設置する鋼板構造物　　※２ 礫…直径2mm以上の石

佐藤）現場でタブレットを使用しています。事前に施工図面や写真を取り込んでおくことで、現場ですぐ図面を確認したり、大きい画面で写真を見ながら打ち合わせが出来ます。事務所まで戻らなくても現場作業の合間に写真の整理ができるので、効率化に繋がっています。

ECO ACTION

西江建設は、社会資本整備を担う会社として地球環保全について真剣に考えています。
地域住民・協力会社の方々に呼びかけ、共に取り組んでいる様々な活動についてご紹介します。

十勝川河川清掃

4月24日、十勝川河川敷において河川清掃活動を行いました。この活動は平成20年に行われた洞爺湖サミットをきっかけにスタートし、今年で13年目となります。

例年は当社職員をはじめ新十勝川大橋町内会や協力会社の方々、総勢100名程度が参加していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、参加人数を3分の1程度に制限しての活動となりました。

十勝大橋からすずらん大橋までの約2kmの区間を清掃し、自転車やタイヤなどの大型ごみをはじめ、ペットボトル133本、ビニール袋116枚など、合計トラック2台分のごみを拾い集めました。

本社周辺　地域美化活動

西江建設では、月に1回(4月～11月)、北1丁目線から国道38号線周辺にかけて本社職員30名程度でごみ拾いを行っています。たばこの吸い殻や空き瓶、缶、ペットボトルをはじめとする家庭ごみが多く、最近では使用済みマスクも増えています。

今後ともこの活動を継続し、地域住民の方々にとって住みよい環境づくりに貢献してまいります。

なお、6月2日に花壇造成を行い、1900株の花苗を植栽しました。(詳細は次号掲載予定)

本社 花壇造成の様子

札幌支店　地域美化活動

5月21日、札幌支店周辺の緑地帯にプランターを設置しました。これは地域美化のため平成21年から取り組んでいる活動です。今年度は、マリーゴールドやマーガレットなど14種類の花を取り揃え、支店周辺を鮮やかに彩りました。只野支店長は「支店開設から33年間、地域の方々にはお世話になり感謝しています。これからも地域社会に役立つ企業として貢献したい」と話します。

支店職員 作業中の様子

設置したプランター

＝ 西江建設が取り組むECO ACTION ＝　○NPO法人十勝多自然ネットの運営　○札内川クリーンウォークへの参加　○十勝川河川清掃の運営・参加　○景観づくりサポート企業への登録　○花壇の造成　○道路清掃の実施　○太陽光発電システムの活用　○クール・ビズ、ウォーム・ビズの実施　○水生生物の生息環境に配慮した工法　○エコドライブの実践　○ノーカーデーの実施

社員親睦イベント

EVENT

西江建設の社員は仕事も遊びも〝本気〟がモットー。仕事中は見られないオフショットを激写＆のぞき見しちゃいます。

ボウリング大会

西江建設では、毎年4月に新入社員のお披露目会をかねてボウリング大会を開催しています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で毎年恒例の親睦イベントが軒並み中止となってしまいました。しかし今年は、人数制限やゲーム時間の短縮、消毒の徹底などの感染防止対策をしっかりと行いながら久しぶりの親睦会を満喫しました。 ※写真撮影時のみマスクを外しています。

まだ緊張気味だった新入社員たちも、ゲームを通じて先輩社員との距離が縮まったようです。

団体賞

個人賞１位は
今年度入社の
春井くん！

特集「新入社員インタビュー」

新入社員紹介

令和3年の春、西江建設には5名の技術職員と1名の派遣社員が入社し、それぞれ工事部工事課に配属となりました。

3月に高校を卒業したばかりの新卒者から同業で活躍してきた経験者まで、多様なキャリアを持った新しい仲間をご紹介します。

うめもと なおしげ
梅本 直成

▶前職
建設業
▶趣味
スキー
▶特技
スキー

（中途）

さいとう こうた
齋藤 宏汰

▶出身校
北見工業大学
▶趣味
スポーツ観戦
▶特技
卓球

さいとう よしひと
斎藤 嘉仁

▶出身校
苫小牧工業
高等専門学校
▶趣味
音楽鑑賞
▶特技
卓球

こばやし そら
小林 蒼空

▶出身校
帯広農業
高等学校
▶趣味
読書
▶特技
野球

はるい しょうご
春井 翔伍

▶出身校
帯広工業
高等学校
▶趣味
音楽鑑賞
▶特技
サッカー

さいとう しんざぶろう
齊藤 新三郎

▶出身校
北見工業高校
▶趣味
スポーツ観戦
▶特技
川釣りで大体
釣れること

（派遣）

インタビュー

慣れない環境の中でも、ひとつひとつ仕事を覚えながら日々成長する新入社員たちに、入社を決めた理由や今感じていることについてインタビューしました。

西江建設への入社を決めたきっかけは何ですか？

春井）昨年のインターンシップに参加したときに、職員のみなさんに優しくしてもらったことや、現場を見学してそのスケールの大きさに感動したことが志望理由です。また、自分が関わりたいと思っていた河川工事が得意な会社だというのも決め手になりました。

小林）「地域貢献がしたい」という思いが強かったので、土木工事をしながら積極的にボランティア活動を行っているところが魅力に感じました。

齋藤宏）帯広市で働きたいと考えていたので、帯広や十勝を拠点に仕事ができる会社がいいなと思っていました。あとは、年間休日が多いというのも決め手の一つです。働きながら様々な資格取得に向けて頑張りたいと思っているので、勉強時間がきちんと確保できる働き方が魅力的でした。

斎藤嘉）当時の担任の先生が紹介してくれたのがきっかけです。春井君と同じく僕も河川工事にとても興味があるので、河川工事が得意な会社だと知って「ここだ！」と思いました。

梅本）前の職場で西江建設と一緒に仕事をしたときに、最先端の測量技術を駆使しているのを見て「自分もやってみたい！」と思ったのがきっかけですね。

西江建設の印象について教えてください

小林） 福利厚生や支援制度が充実していて、社員のことを大切にしている会社だという印象を受けました。

斎藤嘉） 第一印象は「みんな暖かい人だなぁ」でした！入社してからもそれは全く変わっていません。

春井） 雰囲気がとても良くて働きやすい会社だと感じています。

齊藤新） ホームページの施工実績を見て、技術力が高い会社だと思っていました。今もその印象は変わっていません。

梅本） 前々から感じていたことですが、実際に入社してみると改めて技術力の高さに驚かされました。また、現場と本社の連絡体制やバックアップ体制が徹底しているのも印象的です。

ほかの職場を経験した２人から見て西江建設の良さは何だと思いますか？

齊藤新） 人間関係が良好で働きやすい会社だと思います。前の質問で「みんな暖かい人」「雰囲気が良い」と言っていましたが僕もそう感じます。

梅本） 完全週休二日制はとても良いですね！建設業界で導入している会社はなかなかありませんから。それと、ボウリング大会に参加していた皆さんの本気度にびっくりしました(笑)仕事にも遊びにも全力で打ち込めるのも良いところだと思います。

１か月働いてみて感じた、仕事の大変なところ面白いところを教えてください

春井） 初めてのこと、知らないことばかりなので、仕事を覚えるのがとても大変です。しかし、「これから自分が関わった現場が、いつか地図に載るんだ！」と考えると、今からとても楽しみです！

小林） 僕も同じで、覚えることが多いのが大変です。でも毎日が初めての連続なので、新しいことをする度にワクワクします！

斎藤嘉） 最近だと、印刷が思うようにできなくて苦戦しました。何度も用紙を詰まらせて、印刷だけでとんでもない時間まで所長たちを待たせてしまって本当に申し訳ないと思いました…（汗） ですが、失敗しながらも与えられた仕事を自分なりに考えて取り組んでいると、一日が終わったときに強い達成感を得られるのでやりがいを感じています。

現在の目標を教えてください

齋藤宏） まずは現場の環境に慣れることが第一目標です。

春井） 先輩方から教わったことを反復して身に着けて、一日も早く環境に慣れることを目標に頑張っていきたいです！

小林） 2級土木施工管理技士試験に一発合格することです！

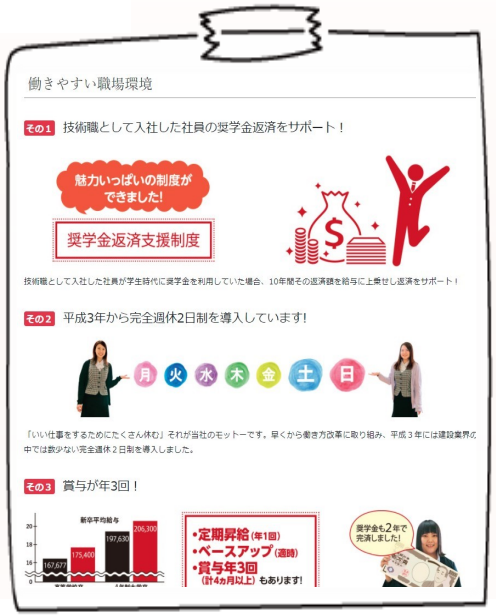
斎藤嘉） まずは自分に与えられた仕事をしっかり覚えて、完璧にこなせるようになりたいです。

西 江 建 設 の ニ ュ ー フ ェ イ ス を よ ろ し く お 願 い 致 し ま す!!

PLUS NEWS!!

当社社員の活躍をはじめとする、新聞では知ることのできない西江建設の最新ニュースをお伝えします。

ページ新設のお知らせ



この度、当社ホームページに「働きやすい職場環境」というページを新設しました。

このページでは、当社自慢の「奨学金返済支援制度」をはじめとする各種支援制度や、充実した福利厚生について詳しく紹介しています。就職活動中の学生さんは必見です！ぜひご覧ください！

アクセス方法

トップページ
↓
採用情報
or
詳細を見る
↓
働きやすい職場環境

スマートフォンの方は
こちらのQRコードを
読み込んでください

HERE!

十勝総合振興局発注の農政部所管事業における

優秀技術者等感謝状

3月8日、令和2年度 優秀技術者等感謝状贈呈式が執り行われ、十勝総合振興局 水戸部 裕局長より山内政人主任が感謝状を授与されました。山内主任が現場代理人を務め、令和元年度に完成した「畑地帯（育成） 更別第３二期外１地区71工区」において、豊富な経験と優秀な技術力を駆使し工事を完成させたことが評価されました。

交通安全優良社表彰

5月10日、帯広建設業協会より「交通安全優良社表彰」を受賞しました。この表彰は、日頃より協会が推進する交通安全運動に取り組み年間の交通違反点数が一定の水準をクリアした企業を表彰するものです。

当社は「無事故・無違反運動における優良企業」として賞状を頂きました（本社登録運転者数59名 違反ゼロ）。光栄なことに、今年で8年連続の受賞となります。この成績を絶やさぬよう、今後とも社員全員で安全運転に努めて参ります。

オンライン会社説明会

申込はコチラから！

当社では随時オンライン会社説明会を開催しています。ビデオ通話だけでなく、資料を画面共有しながら土木の仕事について詳しくお伝えします。説明会はマイナビにて受付中！たくさんのご参加、心よりお待ちしております。

スケジュール ＜6月～8月＞

- ■ 7月22日～7月24日　4連休（海の日・スポーツの日のため休業）
- ■ 8月12日～8月16日　お盆休暇

次回〝夏号〟は
9月末発行予定！